

# クワシロカイガラムシの発生時期と防除

近年は春先の気温が高く推移することが多く、カンキツに発生するヤブカガラムシなどでは発生時期が平年より早くなっているものも見られる。そこで、キウイやモモに発生するクワシロカイガラムシについて、第1世代の発生状況と防除適期について検討した。

## 発生時期と防除

年に3回発生(5月、7月、9月)するが、**第1世代の幼虫期**の防除に重点を置く。防除適期は1齢幼虫の発生盛期(初発の約2週間後頃)である。

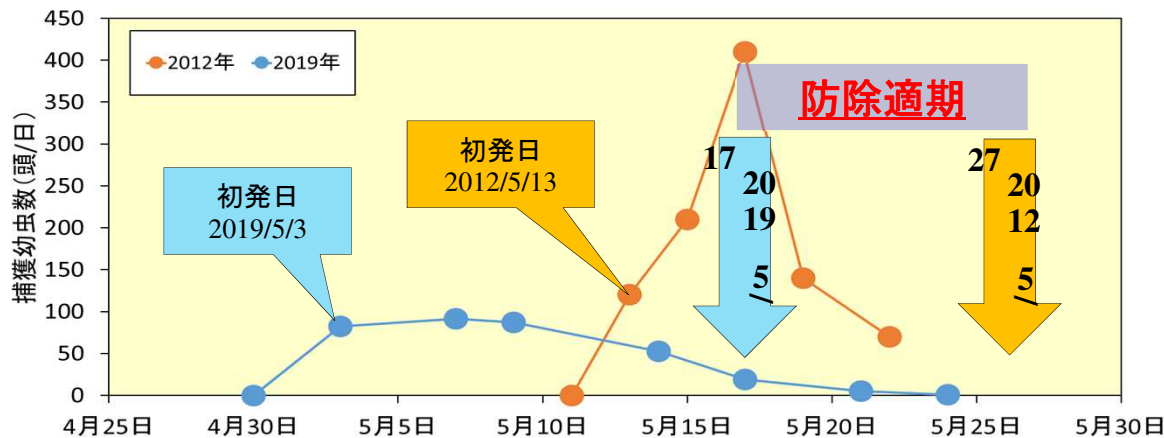


図1 クワシロカイガラムシの発生消長(センター内モモ園)

※センター内モモ園で調査した。クワシロカイガラムシの発生する枝に粘着テープトラップ(写真2)を設置し、発生する歩行幼虫数を計数した。



写真2 粘着テープトラップ

ホームセンター等で市販されている粘着テープを、雌成虫が寄生した枝に取り付ける。数日おきに新しいテープに貼り換える。

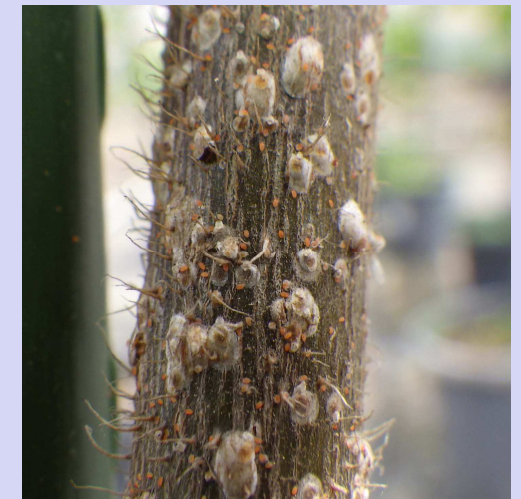


写真1 クワシロカイガラムシ雌成虫と歩行幼虫 (キウイフルーツ)

表1 ヘイワードの開花日(センター内)

年	満開日
2012年	5月29日
2019年	5月23日

※満開日は8割開花した時期

両年ともキウイ(ヘイワード)の開花時期は、概ね防除適期となっている。

本年の初発は2012年に比べ約10日早く、春先の気温が高い年は発生時期が早くなっていると考えられる。

○クワシロカイガラムシの発生時期は春先の気温によって大きく変わる。

○粘着テープトラップ等でクワシロカイガラムシの発生状況を確認するか、キウイの生育状況を見て防除時期を決定する必要がある。